

30年度 運輸安全マネジメントの取り組み

◆輸送の安全に関する基本的な方針

①社長は、輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全確保に主導的な役割を果たす。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対して輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底させる。

②輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(Plan Do Check Action)を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上努める。また、輸送の安全に関する情報については積極的に公表する。

◆輸送の安全に関する目標

重大事故をゼロに、有責事故件数30%削減及び、アルコール検知事案ゼロを目指します。

◆事故に関する統計

	29年度結果	30年度目標	30年度結果
重大事故	0件	0件	件
有責事故	19件	14件	件
アルコール検知事案	2件	0件	件